

以下のデータは、英辞郎 Ver. 172 で追加された全データのごく一部です。
これらのサンプルデータにおいては、漢字の読み仮名が削除されています。

コンピューター／インターネット

■change the language setting : [ソフトウェアなどの] 言語設定を変更する◆複数形で使われることも多い(change the language settings)

■cyberbiosecurity {名} : サイバー・バイオセキュリティ◆情報科学と生命科学にまたがる分野。生物学・医学などにおけるデジタル化・ネットワーク化・AI 利用にはメリットもあるが、特有のリスクや問題点もある。このような領域における安全性についての専門的研究。

■fix __ security vulnerabilities in : ~の__件のセキュリティ(上)の脆弱性を修正する

■fork a project : プロジェクトをフォークさせる◆オープンソース・ソフトウェアの開発などにおいて、既存プロジェクトのソースコードをベースに、そこから派生(枝分かれ)した新規プロジェクトを開始すること。独自機能を持つ別バージョンを提供する場合など。

■Internet influencer : 《an ~》(インター)ネット(上)のインフルエンサー◆影響力の大きい情報発信者◆【参考】influencer

■with just a few taps on : ~を数回[何回か]タップするだけで

医学

■at risk of not getting enough calcium : 《be ~》カルシウム不足になりやすい、[主語(ある条件に当てはまる人々など)には]カルシウム不足のリスクがある

■emergency blood transfusion : 緊急輸血

■fish oil pill : 《a ~》魚油の錠剤◆カプセル錠など。オメガ3脂肪酸(健康に良いとされる)を含むサプリメント。◆複数形(fish oil pills)で使われることが多い。◆【参考】omega-3 fatty acid

■have lactose intolerance : [個人などが]ラクトース不耐症である

■inveterate coffee addict : 《an ~》長年のコーヒー依存症の人◆【参考】coffee addict

■transient side effect : 《a ~》[医薬品などの]一過性の副作用

■tripledeamic {名} : トリプルデミック、感染症のトリプル流行◆3種の病気の同時流行。2022年、米国でこの語が使われ始めた時には、インフルエンザ、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)、RSウイルス感染症(呼吸器合胞体ウイルス)の3種を指した。◆【同】tridemic◆【参考】twindeamic

その他

■albeit indirectly : 間接的とはいえ[ではあるが]◆例えば「悪い出来事の原因になった」という文脈で

- blame the wrong person : [誤解などが原因で] 関係ない人を非難する、八つ当たり (を) する ■・You're blaming the wrong person. あなたは関係ない人を非難しています。／それは八つ当たり (というもの) ですよ。
- can be kept at room temperature : [食品・製品などが] 常温保存可能である、常温で保存できる
- cheesy phrase : 《a ~》陳腐な語句、くさいせりふ◆使い古された決まり文句など
- cooler-than-expected inflation : 予想より低いインフレ
- demand to speak to a manager : [不満・苦情のある顧客などが] 上司 [管理者] と話をさせる [話がしたい] と要求する
- destroy someone's faith in humanity : 人類 [人間性というもの] に対する (人) の信頼を打ち砕く、[主語 (人々の愚行・身勝手な行動など) のせいで] (人) は「人類はもう駄目だ」と絶望 [失望] する
- deuterium excess : 重水素過剰 (値) ◆水循環などの研究において、試料 (通例、天水) の特徴を表す二次的指標。特定サンプルにおける「水素の安定同位体比」と「酸素の安定同位体比」の相対的関係を数値化したもの。◆【略】d-excess
- differing only marginally : 《be ~》ほんの少し違うだけである、ほとんど同じである
- exchange confused glances : 混乱して互いにちらっと相手を見る、訳が分からず (ちらっと) 顔を見合わせる◆二人の人などが。例えば第三者の不可解な言動について、互いに「どういうこと？」と尋ねたい場合。
- fail to reject the null hypothesis : 《統計》帰無仮説を棄却できない
- feel like an afterthought {1} : [事前の計画などではなく] 後からの思い付きのよう [(後から) 取って付けたよう] に感じられる
- feel like an afterthought {2} : ついで [おまけの存在] のように感じられる
- filthy stinking rich : 《be ~》とんでもない大金持ちである◆「あくどく稼いで」のようなニュアンス
- for the gazillionth time : 〈話〉これを言うのは億万回目だが、もう1億回くらい言ったけど、何度も何度も言ったことだけ◆【参考】gazillionth
- genre convention : 《a ~》分野における慣習、ジャンルの慣習、お約束◆文芸作品などに関連して、絶対的規則ではないが「普通はこうする・これが王道」といった通念。◆複数形で使われることが多い(genre conventions)
- genre-savvy {形} : (その) ジャンルに詳しい◆しばしば物語内の人物を形容。例えば、ホラー映画の登場人物が「ホラー作品では、こういう行動を取る人は真っ先に死ぬものだ」といったことを熟知していて、そのパターンを避けようとする場合。
- get one's head in the game {1} : [スポーツ選手などが] 試合に (意識を) 集中する、試合のことだけを考える、試合中に余計なことを考えない
- get one's head in the game {2} : 〈比喩〉余計なことを考えず作業に集中する、全力投球する、気を散らさない ■・(Get your) head in the game. 精神を集中して取り組んでください。／仕事に集中して。◆【場面】重要な局面で、相手が注意散漫になっている場合など。◆【類】Stay sharp.

- half-hearted smile : 《a ~》投げやりな笑み、(お)愛想笑い◆心がこもっていない。内心不愉快な場合・疲れている場合など。
- harmless joke : 《a ~》無害な[無邪気な・毒のない]冗談[ジョーク]◆特定の人々をからかう内容・どぎつい内容などではない
- have no sense of subtlety : [無頓着な人などが(言動・表現などについて)]繊細さ[さりげなさ]に欠ける、露骨[あからさま]過ぎる、微妙な加減(というもの)が分からない
- health-savvy {形} : 健康志向(で情報通)の、健康意識の[が]高い◆食品・製品・ライフスタイルなどについて「何が健康的で何が不健康か」といったことに詳しい。
- health-savvy consumer : 《a ~》健康志向の[意識の高い]消費者
- helium shortage : ヘリウム不足◆ヘリウムは宇宙で最もありふれた元素の一つだが、地球上では枯渇しやすい。
- helpful but not a panacea : 《be ~》助けになるが万能薬ではない、有効だが万能ではない、有用だがそれで全てが解決するわけではない
- hopelessly hooked on drugs : 《be ~》ドラッグに溺れ[はまり]どうしようもない(状態である)◆違法薬物などについて。依存症になり、生活が破綻している場合など。
- insurmountable disadvantage : 《an ~》克服できないデメリット[ハンディキャップ]、越えられない壁[不利な要因]
- internally groan : 心の中でうめく◆「迷惑だ・やれやれ・うんざり」と感じるが、声に出すわけにはいかない場合など。
- knock-off designer product : 《a ~》偽ブランド商品◆本物(有名デザイナーによる一流ブランド商品など)に見せかけた偽物
- like no tomorrow : 明日のことなどお構いなしに、一心不乱に、がむしゃらに、ものすごい勢いで◆【同】like there's no tomorrow
- meta-science {名} : メタ科学◆科学(研究手法など)についての科学的研究◆【参考】meta-analysis
- mog {他動} : 〈俗〉[人を]パワーで圧倒する、威圧する◆【語源】一説に AMOG=alpha male of the group(グループのトップに立つ男)という略語から派生。実際の用例上では、男性以外が主語になることもある。◆【参考】alpha male■・I got mogged. 私は力負けしました[たじたじでした]。ノ気おされてしまった。
- Moron-in-Chief {名} : 〈俗〉間抜けなトップ[リーダー]、大ばか大統領◆Commander-in-Chiefのような表現をもじった称号。「無能」という趣旨のやゆを表す。◆しばしばthe [our] ~の形で使われる。Moron in Chiefまたはmoron in chiefと表記されることもある。
- multiplicatively {副} : 《数学》乗法的に
- normie {名} : 〈俗〉一般大衆の一員、普通の人、般ピー◆しばしば多少軽蔑的。「既存の常識・多数意見を受け入れるばかりで、主体的に考えることができない」といったニュアンスを持つ。◆【参考】sheeple
- not much of a people person : 《be ~》あまり社交的なタイプではない、人付き合いがあまり好きではない、[主語(気ままに過ごしたい人など)にとって]人付き合いは煩わしい◆【参考】people person

- nutrient-dense food : 《a ~》栄養密度の高い食品、[いろいろな] 栄養素がぎっしり詰まった食べ物
- overanalyze {他動} : [~を] 過剰に分析する、[物事などを] 必要以上に細かく考える [分析する]
- paltry attempt : 《a ~》お粗末な試み、悪あがき◆努力はしているが効果がない
- plant-based lifestyle : 植物ベースのライフスタイル◆菜食や植物由来の製品などを基本とする
- poorly trained dog : 《a ~》しつけの悪い犬
- predictable result : 《a ~》予見 [予想] 可能な結果、案の定の結果、当然の帰結
- read between the lines too much : [あまり深い意味はないのに] 深読みし過ぎる
- rudely shocked : 《be ~》予期せぬ不愉快なショックを受ける、[主語にとって] 寝耳に水の事態である◆【参考】rude shock
- spellbinding picture : 《a ~》[まるで魔法がかかっているかのように] 心を魅了 [とりこに] する画像、魅惑的な写真
- spoonable {形} : スプーンですくえる [食べられる] (硬さの)、とろりとした◆食品の形状など。コチコチの硬さではない。
- stage a robbery : 強盗事件を装う [偽装する]、強盗事件に見せかける◆【参考】staged robbery
- stop the economy from overheating : 経済 [景気] の過熱を防ぐ [阻止する] ◆【参考】soft landing
- stronger-than-expected economic data : 予想を上回る経済データ、予想より強い経済指標
- sub-zero rate : ゼロ未満の金利 [比率]、マイナス金利◆形容詞的用法以外では、複数形 (sub-zero rates) で使われることが多い。
- throw one's back out : 背中の筋を違える、ぎっくり腰になる◆重い物を持ち上げようとした場合など。日常的表現。医学的には、筋肉痛・椎間板ヘルニアなど、いろいろな状態を指す可能性がある。◆【参考】slip a disk
- too-good-to-be-true job offer : 《a ~》話がうま過ぎる仕事のオファー、破格の条件の求人◆例えば「簡単な作業で高額報酬を払う」というもの。真正な求人かもしれないが、詐欺や犯罪に関係しているかもしれない。
- walking ATM : 《a ~》〈比喩〉歩く ATM、人間 ATM◆「(頼めば) お金を出してくれる機械のような存在・お金を持ってきてくれる便利な人・単なる金づる」などと認識されている◆【参考】walking wallet
- youthful naivete [naivety] : 若さゆえの純真さ [単純思考]、[単純思考などについて] 若気の至り

略語

- BMM : =bare minimum Monday●最低限の仕事しかしない月曜日◆1 週間の労働において、火曜

日以降のストレスを軽減するために、月曜日の仕事量をできるだけ少なくしようとする。

■CeFi : =centralized finance●中央集権型金融◆【参考】decentralized finance

■GEO : =geosynchronous Earth orbit●対地同期軌道◆人工衛星・宇宙ステーションなどについて。赤道上空の場合には、静止軌道に当たる。

■RTO : =return to office●リターン・トゥ・オフィス、オフィス [職場] への復帰◆パンデミック (感染症の大流行) の期間中または終息後にリモートワーク (または在宅勤務) を終えてオフィス (または職場) に戻る。

■SCET : =Spacecraft Event Time●探査機時間◆宇宙船内の現在時刻。概念的には地球上の時刻 (協定世界時など) と同期しているが、地球から遠ざかるにつれ一種の時差が生じる。例えば地球上の時計で「1月2日0時ちょうど」に着陸成功の信号を受信したとして、探査機時間では「1月1日23時台」以前に着陸成功している。光・電波の片道の所要時間 (one-way light time) が差の原因。

■QoQ comparison : =quarter-on-quarter comparison● [経済関連データなどについて] 四半期ごと [単位] の比較

■TradFi : =traditional finance●従来型金融、従来型 (の) 融資 [ファイナンス] ◆略語 TradFi は DeFi などと対比的

例文集「例辞郎」

■Boy, was I surprised! : いやあ、驚いたのなんの! / いやはや、驚きました! ◆動詞が前に置かれているのは強調のため (一種の感嘆文)

■Did I ask for your opinion? : あなたの意見なんて聞いてないでしょう? ◆【直訳】私はあなたの意見を尋ねましたか? ◆【場面】余計な口出した。

■Don't (even) get me started. : その話はやめましょうよ。/ その話を始めると、きりがなから…。/ 口にするのもおぞましい [ばかばかしい]。◆【場面】その件について (内心言いたいことはいろいろあるが) コメントを始めると際限がなく、相手はうんざりするだろう。話者にとっても愉快的な話題ではない。

■Dum spiro spero. : 息が [の] ある限り、私は希望する。/ 最後まで諦めない。◆ラテン語。しばしば標語として使われる。◆【同】While I breathe, I hope.

■Hope springs eternal. : いつだって希望はあるさ。/ 希望が尽きることはない。/ 人間は希望を捨てられないものだ。/ 可能性はゼロじゃない。◆慣用句・常とう句◆【語源】英国の詩人ポープの「人間論」から◆【参考】Alexander Pope; Essay on Man◆【類】While I breathe, I hope. ; While there's life, there's hope.

■How is this my fault? : どうしてこれが私のせいなのですか? / これは私の責任 [せい] じゃないでしょう? ◆【場面】トラブルなどについて。理不尽に責任を押し付けられている場合など。

■I wish there were [was] something I could say. : 私に何か言ってあげられることがあったらいいのに…。/ 残念ながら、私に言えることは何もありません。/ あまりのことに言葉もありません。/ 全く何と申し上げたらいいのか…。/ ご心中察するに余りあります。◆【場面】でき

ることなら助け・励ましになることを言ってあげたいが、適切な言葉が（見つから）ない。「気を落とさないで」といった安易な慰めの言葉は、役立たない。◆there were はフォーマル、there was は日常語的。

■I'm sorry for wasting your time. : あなたの時間を無駄にしてしまって、すみません。／お忙しいところ、申し訳ありません（でした）。◆【場面】自分の行為（変な質問・依頼など）によって、時間を浪費させてしまったようだ。

■Look at me when I'm talking to you. : 私があなたに話をしているときは、私を見て [よそ見をしないで] ください。／人の話はちゃんと目を見て聞きなさい。

■No idea. : (全然) 分かりません。／さあ（どうなのでしょうね）…。／何が何だか…。◆I have no idea. の略◆【場面】答えの分からない質問をされた。◆【類】No clue. ; Beats me.

■Nobody move a muscle. : 全員ぴくりとも動くな（よ）。／全員そのまま。◆【参考】Nobody move. ; Freeze!

■Not exactly, but close enough. : (正確に言うと) ちょっと違うけど、大体そういうこと（です）。／当たらずといえども遠からず。

■What do they think they're doing? : 彼らは、何をやっているつもりなのでしょう？／何考えてるんだろうね、あんなことして？◆真意が理解できない・おかしいと思う。

■What on earth just happened? : たった今、一体何が起きたのですか？／今のは一体何だったんだ？◆【場面】訳の分からないことが起きた。

■Who'd [Who would] have think it? : 誰がそんなことを予想したんだろうか？／こいつはぶったまげた。◆【場面】予期せぬ出来事など◆この think は think の過去分詞。非標準だが、一種おどけて使われる。

■You've done it again. : あなた、またやったでしょう。／またやってくれましたね。◆【場面】同様の事柄（成功・失敗など）が反復されている。相手はまたそれをやった。

